

教科	保健体育	科目	体育(男子)	単位	2	対象	第2学年A組～E組
使用教科書 (出版社)	最新高等保健体育 (大修館書店)		使用教材 (出版社)	最新高等保健体育ノート (大修館書店)			

月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	バスケットボール ソフトボール 柔道	◎一つ一つ丁寧にこなし個々の技術向上につなげる。安全に対する配慮ができる。	・個々の運動への取り組み	9
5月	バスケットボール ソフトボール 柔道	○ソフトボール スローイング、キャッチング、バッティングの基本的な技術を身につける。ゲームを通してルールをきちんと覚える。	・グループでの練習や活動	9
6月	バスケットボール ソフトボール 柔道 水泳	○柔道 お互いに相手を尊重し取り組む姿勢を身につける。相手の動きに応じた体さばきを習得する。基本的な投げ技の習得。	・スキルテスト	12
7月	バスケットボール 水泳	○バスケットボール 正しい審判が出来、ルールにそってゲーム出来る姿勢を養う。 ○水泳 手足のコンビネーションによる動きを体得する。	・ゲーム	
9月	バレーボール サッカー 水泳 柔道	◎一つ一つ丁寧にこなし個々の技術向上につなげる。安全に対する配慮ができる。	・個々の運動への取り組み	12
10月	バレーボール 柔道 サッカー	○水泳 背泳ぎ、バタフライ25m。泳法習得、タイム計測。 ○バレーボール・サッカー	・グループでの練習や活動	12
11月	バレーボール 柔道 サッカー	個々の技術、技能の向上と集団における協調性を養う。正しい審判が出来るようにルールを理解させる。戦術を考えチーム内の教え合いを大切にする。	・スキルテスト	12
12月	バレーボール 柔道 サッカー	○柔道 相手の動きに応じた基本動作から得意技を用いて投げたり、抑えたりする試合ができる。	・ゲーム	
1月	持久走	◎一つ一つ丁寧にこなし個々の技術向上につなげる。安全に対する配慮ができる。	・グループでの練習や活動	9
2月	持久走 バドミントン	○持久走 自分の体力に合わせたペースを身に付けさせる。目標タイムを設定しそれにむかって取り組む姿勢を養う。 ○バドミントン 個々の技術、技能を向上させる。正しい審判が出来るようにルールを理解し、ゲームができる。	・スキルテスト	12
3月	バドミントン 体育理論	○体育理論 生涯を通じて継続的に運動ができる知識と能力を養う。	・ゲーム	6
			・グループでの練習や試合などの動き	